

～ 私達は介護のプロを応援します ～

令和5年度  
介護労働講習  
(実務者研修を含む)

公益財団法人 介護労働安定センター 京都支部

※掲載している写真、氏名等の個人情報につきましては、予めご本人の承諾を得て掲載しています。



## ◆ 修了生へ贈る言葉 ◆



第11期介護労働講習修了生の皆さん、半年間にわたる介護労働講習を無事修了されたことをお慶び申し上げます。

新たな職場で介護業務に取り組まれている方もいらっしゃる、就職活動を継続されている方もいらっしゃると思いますが、あらためて振り返ってみてください。

皆さんは、自分の意志で介護労働講習の受講を決められました。

そして、半年間にわたり、介護に関わる多くの知識や情報を吸収されました。また、実技や職場実習を通じて多くのスキルを修得されました。

さらに、半年間、ともに受講した30名の仲間との繋がりもつくられました。

これらは皆さんの大きな武器になるはずです。

質の高い介護人材の育成は少子高齢化が進む日本の大きな課題であり、今後ますます重要になってくると考えられます。そのど真ん中で、皆さんには大きな武器を活用していただき、これからの介護事業を支える存在として成長し続けてもらいたいと心より願っております。

とは言え、悩んだり、困ったり、先が見えなくなったりすることもあると思います。

そんな時は、介護労働安定センター京都支部を頼りにしてください。

半年間、ともに過ごした仲間として一緒に対応を考えます。

そして、もっと対応力のある京都支部に、皆さんと一緒に成長していこうと考えています。

京都支部長 緒方 隆治

# ◆ 講習の1ページ ◆

開講式



車椅子・杖歩行



施設見学



人体構造の調査



チームワークの演習



レクリエーション技術



喀痰吸引



経管栄養



シーツ交換



体位変換



移動・移乗



入浴介助



食事介助



とろみ体験



手浴の演習



排泄介助



オムツの着脱



ヒゲ剃り



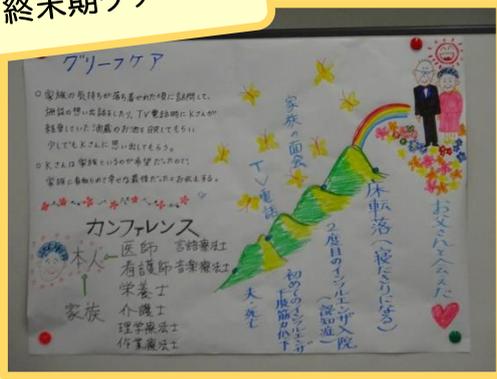
爪切り



着脱介助



終末期ケア



修了生講話



介護計画書の作成



接遇・マナー



合同就職説明会



SDG's の学習



心肺蘇生法



就職ガイダンス



## 【 講習を終えて 】

今年度は、30名の受講者が、それぞれの道へ進んでいきました。

「①講習の感想」と「②今後の展望」をお聞きしましたので、その一部をご紹介します。

<① 講習の感想>介護労働講習を漢字一文字で表すと？

年齢や背景の異なる方々と、同じ目標に向かって学んでいくことは、本当に楽しく、あっという間の半年間でした。介護労働安定センターの職員の方々も本当にきめ細かく対応してくださり、私たちが勉強に集中できる環境を整えてくださったことに感謝しています。

講習内容も多岐にわたり、よく考えていただいていると思います。介護の基本は、人としての基本であると実感した日々でした。今の気持ちを忘れず、今後の介護職としての職業人生に活かしていきたいと思います。

私は、傾聴の「傾」という漢字を選びました。すべての人に心を寄せていくという意味を込めて。

# 傾

<② 今後の展望>これからのキャリアプランは？

自分のペースで介護の仕事を続けていければと思っています。そのうえで、おひとりおひとりと誠実にかかわっていける介護職になっていければと思っています。そして、その先に「介護福祉士」をめざしたいです。また、末永く介護の仕事を続けるために、福祉用具についても勉強し、「福祉用具専門相談員」の資格も取得したいと思っています！

<① 講習の感想>介護労働講習を漢字一文字で表すと？

私は人見知りなところがあり、この介護労働講習を受講するかどうかを検討していた頃は、受講内容よりも人間関係のほうに不安を抱えていました。開講当初は、毎朝、不安で憂鬱でした。だけど、介護労働安定センターの方や講師の方は、そんな私たちの気持ちを十分に理解しておられました。まずは受講者同士が心を打ち解け、開けるようにカリキュラムを設定されていることに気が付き、とても心温まる思いがしたのを覚えています。そのおかげもあって、いつの間にかみんなが助け合い、笑い合える同志となることができたんだと思います。

さらに、さまざまな経験をし、いろいろな事情を抱え、いろんな所からみんながここに集まっているという出会いにも感謝しています。「介護の勉強がしたい。」や「実務者研修を修了したい。」という目的だけではなく、同じ目標に向かって助け合いながら全員で修了する達成感や大切さも教わった気がします。これから携わっていくであろう介護の世界で必要な学びとなりました。

辛いときや、くじけそうなときには、介護労働安定センターの方々や講師の方々、そして一緒に学んだ同志のことを思い出すことで、乗り越えていけそうな気がします。感謝のみです。

<② 今後の展望>これからのキャリアプランは？

ここで学んだ「介護について」はもとより、「人間について」学んだことを活かして生きていきたいと思っています。そして、いつかは、介護に携わろうと思ってくださった人たちや、希望いっぱいに入職された職員の方々が、楽しく幸せな気持ちで職務遂行できるように指導する職員になりたいです。

# 扉

<① 講習の感想>介護労働講習を漢字一文字で表すと？

このたびの介護労働講習を経て、私は「磨」という漢字を選びました。  
この選択には、いくつか理由があります。

# 磨

入校初日には、半年間という期間に不安を感じました。しかし、クラスでのグループワークや日中の講習を通じて、他の受講者との繋がりを築き、コミュニケーション能力が向上したと感じています。さらに、講習を通じて初めて知ることができた知識や、介護の専門性を高めるための学びがありました。例えば、「人を尊重するとは、どういうことか?」、「その人らしい生き方とは、何か?」などについて、改めて考えたり、気付いたりすることができました。自身の介護士像に近づけたと実感しています。

また、受講者のみんなと共に同じ目標を持ち、切磋琢磨しながら半年間を過ごせたことは、貴重な経験でした。この時間は、自分にとって百世不磨だと感じます。このような経験から「磨」という漢字を選びました。講習を通じてスキルアップし、クラスメイトと共に「介護の世界」を共有できたことに感謝しています。ありがとうございました。

<② 今後の展望>これからのキャリアプランは？

私は、たくさんの視点を持って介護に携わりたいと考えています。前職が「介護」であったことと、理学療法士の資格取得をめざして大学に通っていたことから、今後の展望として「介護福祉士」、「介護支援専門員」、「理学療法士」の資格を取得したいと思っています。また、この経験を活かして、「介護」という仕事を人に伝えていく役割も担っていきたいです。

<① 講習の感想>介護労働講習を漢字一文字で表すと？

貴重な時間を過ごさせていただきました。講義は、介護を軸に多方面からカリキュラムが組まれていました。介護の勉強は私たちの生活や生き方に直結するものであって、とても興味深く聴いておりました。先生方からは、ご自分の仕事を楽しんでいる様子が伝わってきて、介護分野に対する希望のようなものを初めて感じました。

# 縁

また、受講により、年齢や職歴もさまざまな方（受講者）と出会うことができました。いろいろな背景を持つ方が集まって、同じ方向に向かって勉強をすることは、後にも先にもないのではと思います。ここへ来るまでの、それぞれの人生を聴くことができました。受講後に次のステップ（介護業界）へ進むことが共通目標であるからこそ、いろいろな想いを打ち明けることができたのかなと思います。

<② 今後の展望>これからのキャリアプランは？

介護には、さまざまな形態のサービスがあることを知り、見学や実習を通して、その違いを見させていただきました。自分がどういった事業所で働きたいのか、これから一層イメージをつかみたいと思っています。介護職に就くことと、仕事を覚えて身に付けていくのを重ねていけることをが、今の私の目標です。

# 縁

## <① 講習の感想>介護労働講習を漢字一文字で表すと？

この講習を受講した理由は、今までまったく違う仕事をしてきて、セカンドキャリアとして介護職を考えていたものの、具体的な仕事の内容も、福祉制度についての知識もなかったため、ちゃんと勉強してからイメージしたいとの思いからでした。約6ヶ月の受講期間は、毎日朝から大変だなあとも思いましたが、実務者研修という資格を取得できるのはありがたいと思い、「頑張ろう！」と応募しました。

実際に講習が始まってみると、介護の勉強になるばかりでなく、生活していくうえで役に立つ知識も学ぶことができました。一番印象に残った授業は「認知症の理解」です。身内に認知症の人がいるのですが、それまで思っていたことがまったく間違っていたことに気づかされました。適切な接し方など、正しい知識を得ることがいかに大切かを知り、大変勉強になりました。認知症の人が多い昨今、すべての人に学んでもらいたいと思ったくらいです。

また、座学だけでなく、演習や試験などもありました。同じチームの人と助け合い、合格に向けて居残り練習をしたことも良い思い出です。この約半年間は、いろいろと大変だったことや楽しかったことなどがありましたが、自分の中で心に強く残っているのは「仲間と助け合うことが大事」ということです。今まで一人で完結するような仕事をしてきた私にとって、「介護とは個人プレーではなくチームプレーだ。」ということがわかったことも大きな収穫でした。

末尾になりますが、一緒に学んだ同期の皆様や、支えてくださったセンターの職員の皆様に感謝します。これも素敵な縁。これからも大事にしたいと思います。

## <② 今後の展望>これからのキャリアプランは？

まずは3年間頑張って、介護福祉士の国家資格取得をめざします。そのためにも、介護職に就職したあかつきには、一日も早く仕事に慣れて、利用者の方や職員の方に信頼される職員になりたいです。

# 変

## <① 講習の感想>介護労働講習を漢字一文字で表すと？

漢字で表すと「変化」の「変」でした。私は人前に立って話すことや、発表すること、また、人と意見交換することも苦手でした。しかし、日々のカリキュラムで、いろんな内容の意見交換や発表を経験していくことで、意見を言えるようになったり、人の意見を聞いて自分の考えを伝えたり、少しずつ変わっていったのではないかと思います。

介護の仕事はまったく何も知らない私でしたが、「認知症の理解」「医療的ケア」「コミュニケーション技術」等、多くの学びをすすめていくと、介護職の役割は奥深く、誇りをもって仕事に就ける職種だと思うようになりました。私の介護職のイメージが変わり、成長できた講習期間でした。私が、学び、考え、悩み、変化できた期間を、見守っていただきました。ありがとうございました。

## <② 今後の展望>これからのキャリアプランは？

今は大きな目標やキャリアプランを考えられませんが、少しずつでも成長して、永く介護職を続けていきたいと思っています。



## ◆ 就職先をたずねて ◆

### ★ 事業主さまの声 ★

#### 柘野福祉グループ 人事・採用担当 万木 ひろみ 様

Q1. 採用された決め手などを教えてください。

岡田和久さんは、お会いした時から私たち人事・採用担当にも、包み隠さず、携わってこられたお仕事のことやご家族のことなど話してくださいました。どのような思いで介護労働講習（実務者研修を含む）の資格取得を目指されたか、また将来的に福祉業界でどのようなことをしていきたいかをお聴きし、圧倒的な熱意と覚悟を感じました。

介護のお仕事は、コミュニケーション能力や人との関わり方がとても大切になりますが、岡田さんは初対面でも人に緊張感を与えず、気遣いができ、相手の立場にたって物ごとを考えることのできる方でした。お話しはいつも面白く、その人間性に触れるにつれ、一緒に働きたいと思いました。私は特に、奥さまのお話しをお聴きするのが好きでした。岡田さんのご家族をまるごと応援したいと強く思いました。ゆくゆくは採用や営業等の分野でも活躍していただける方だと思い、自信を持って採用しました。その時感じた思いは今も変わらず持っています。



Q2. 普段の仕事ぶりは、いかがですか？

そのお人柄や豊かな社会人経験から、現場にもすぐに馴染まれました。必要な知識や技術は現場経験が長くなれば後から備わってきますが、「人と話すこと」や「良い聞き手になること」はその人自身の人生経験や環境、性格によって左右される部分も多く、指導があればできるようになる、というものでもありません。岡田さんは前職で養ってこられたコミュニケーション能力を十分に発揮して、今、現場の要となってくれています。

先日、各事業所から応援職員を募り、北区の事業所へしばらく勤務していただくということができました。感染症等で、人材の足りなくなったグループ内の事業所へ応援に行くことは、よくあることです。岡田さんは、「自宅から通いやすい自分が行くのが望ましい」と自ら名乗り出て、数か月間、別の事業所に勤務してくださいました。自分自身に余裕が無いと、なかなか気軽に上司へ発信できないものです。相手の立場を考えて即行動できる岡田さんのような方にこそ、たくさんの方が集まってくるのだと思います。

Q3. これから介護労働講習を受講される方へ向けて、メッセージをお願いします。

介護労働安定センターは、資格を取得するだけでなく、優しい職員の皆さんとの関わりや受講者同士の出会いがあり、人として大きく成長できる場所です。ここで研修を終えられた受講者の皆さんにお会いすると、この機会がいかに自分と向き合う大事な時間になったかを知ります。家族や友人とは違う人のあたたかさにも触れて充実感や達成感に満ちたお姿は、羨ましく感じるほどです。そんな貴重な人間関係を築かれて、自分自身と向き合い介護の勉強に身も心も費やされた方とは、こちらもぜひ一緒に働きたいと思うものです。

介護のお仕事は、全ての人に人生で一度は経験していただきたい素晴らしいものです。ぜひ受講後は、臆することなく介護現場へ飛び込んでください。皆さんの新たな挑戦をお待ちしています！

## ★ 就職者の声 ★

### 介護付有料老人ホーム アーバンヴィラ四条大宮

岡田 和久 さん（令和2年度 介護労働講習 修了生）

Q1. 介護労働講習で学んだことを教えてください。

介護業務に必要な知識や技術はもちろんですが、「人として」の部分を変えてしっかりと学ばせていただいたと感じています。実際介護の現場で働くようになって、ご利用者様との人間関係はもちろんのこと、職場の同僚との関係においても、接し方や相手の立場と自分の立ち位置など、状況に応じた距離感を取り続けるのが難しく、だからこそ重要なのだと日々感じています。一人ひとり性格も違えば身体的な状況なども異なるご利用者様に対し、それぞれに応じた接し方を検討するうえで、介護労働講習で学んだことが役立っているなど感じています。



Q2. 実際に介護の仕事に就かれた感想は、いかがですか？

職務がルーティンワークになりがちな内容ですが、業務に就くにつれて「奥深さ」と「やりがい」を感じるようになりました。ご利用者様の「日常生活の下支え」という面では、Aさんにとっての快適さとBさんがお感じになる快適さは違います。そういった違いを把握した上で、それぞれの快適さを追及する点に奥深さを感じます。

また「日常生活のプラスアルファ」の提供も意識し少しでも楽しい時間を送っていただけるように、介助に入る短時間ではありますが、ご利用者様との会話を意識して行っています。ご利用者様が笑顔で会話を楽しんでくださっているときにやりがいを感じています。

Q3. これから介護労働講習を受講される方へ向けて、メッセージをお願いします。

前職で介護制度等を学ぶ機会があり興味はありましたが、日常生活ではさほど縁がなく、講習では毎日が未知との遭遇でした。個性豊かな講師陣のわかりやすく楽しい講義や、様々な経歴や年齢の他の受講者との時間は本当に貴重な経験になると思います。

今後の進路に福祉業界を検討されている方、特に異業種からの転職をお考えの方にとって、職場以外に同業の知人・友人がいることは就職後、刺激に、また支えになってくれる存在になると思います。受講する半年間を精一杯楽しんでください！



受講者の頃のヒトコマ  
当時から勉強熱心でいらっしかったです！